

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成 26 年度 第 1 回理事会議事録

日 時：平成 26 年 4 月 16 日（水）19 時 00 分～21 時 30 分

場 所：都臨技事務所

出席者：下田、千葉、小松、宮崎、高城、中西、鈴木、原田、三橋、工藤、土橋、蝶名林、佐藤、杉岡、小山、松村、多田、大野、星野、東海林監事、立花監事、遠藤監事、萩原役員選出委員

1. 理事行動報告

3 月 17 日（木）学術部会	小松、高城、中西、蝶名林、大野
3 月 28 日（金）編集委員会	蝶名林、
4 月 2 日（水）都臨技監理会議	下田、千葉、小松、中西、原田、鈴木、工藤、小山、多田、三橋
4 月 4 日（水）会計部会	鈴木、土橋
4 月 9 日（水）STI 予防委員会	佐藤

2. 報告事項

（1）平成 25 年度第 11 回理事会および平成 26 年度第 1 回監理会議の議事録について何かあればメーリングリストで修正連絡する。

（2）各部局・委員会からの報告 各報告書参照

【報告事項】

○監査報告 (報告書参照)

4 月 10 日木曜日都臨技事務所にて平成 25 年度業務執行状況および財産の状況について監査を行った。会員が増加しており、多くの事業が計画通り実行されており、100 名を超える参加者があった事業もあった。法人関係の書類、事務員、事務所関係、財産の状況についても適正に保管管理されている。公益財団法人としては費用対効果の検証が必要となる時代である。監査時には事業報告一覧の提出をお願いする。

○組織部会

都臨技オリエンテーションは 4 月 23 日（水）には東京山手メディカルセンター（旧社会保険中央病院）にて開催、資料作成の締め切りは 4 月 18 日。

幹事、研究班員の交代、移動があるので最新情報を確認する。

○会計部

平成 26 年度前期事業についての仮払いを 4 月 17、18 日に都臨技事務所で行う。（仮払い一覧参照）。

仮払い当日に会計簿の付け方について説明を行う。前期仮払いがある担当者で来られない方は個別に説明を行うので、鈴木までメールで連絡してほしい。第 4 四半期に会計報告をまとめて行わなければならないので事業が消化するごとに会計を差し替えるようお願いする。困ったら会計部鈴木まで。

○学術部会

前回提出した研究班幹事については委嘱状をお願いする。定数に満たなかった輸血研究班の新幹事について承認をお願いする。

→前回資料の研究班幹事については都臨技未登録者や、支部の移動があり委嘱状を発送する段階に至っていない。確認して対応する。

○STI 予防委員会

平成 26 年度の STI 委員会の体制や活動について検討した。新委員についての承認をお願いする。

○表彰選考委員会

都臨技から日臨技に推薦した候補が必要した。改めて報告する。

委員選任の規程案作成中、今後、案を提示し審議をお願いする。

○編集委員会

5 月号について 6 月の総会資料等まだすべて入稿されていない。5 月 12 日の週に発送予定。

8 月号からの印刷について審議をお願いする。

○データ標準化・精度管理調査・検査室認証委員会

来週会議を行う。委員の推薦について検討を行い報告する。

○役員選出委員会

3月の開催なし。委員の任期について3月末になるのか等の役員選出規程の決定が待たれる。

→役員選出委員会から提出された役員選出規程に関して庶務で検討し、次回の監理会議での検討事項とする。

3. 審議事項

○平成25年度事業報告書について前回理事会で指摘された点を検討し修正した完成版が提示され承認された。

○平成25年度の決算を4月5日に行い収支計算書、他財務諸表については監査に提出、適正であるとされた（会計部報告書参照）。

平成25年度決算報告書について承認された。

○支部

東支部の幹事が増えた。西支部幹事が少ないため、東を避けて西から選出してほしいとの意見が出された。

・幹事の支部間移動に関する移籍について、2名の幹事について承認された。

○学術部

輸血研究班幹事について承認された。

研究班幹事については今後推薦基準を明確にし、事務局でフォーム（推薦様式）を作成し、それをを用いて推薦する。

○庶務部

・新入会1名が提示され審議の結果、承認された。

○事務局より

1) 学生会員5名+87名について承認された。

学生会員は計349名となる。卒業生と想定される学生会員は会員リストから削除を行っている。正確な数値を把握するため学校から情報をもらう予定。運用については学生証と会員証の提示が必要としているので問題なし。

2) 個人情報保護管理規程（案）について

山梨県のをベースに案を作成した。他県もほぼ同じパターンである。副会長の役職については規程上ないので、ホームページの紹介職名に合わせて「事務系」「公益Ⅰ」「公益Ⅱ」とした。語句は個人情報保護方針と同じ表現を用いた。

・東京都臨床衛生検査技師会→「衛生」を削除

・都臨技個人情報管理規程 →「都臨技」重複するので削除

・罰則規定が必要ではないか？→定款に則り除名となるので管理規程には必要ないと考える。

・細かい文体の表現について訂正が必要

→継続審議事項とする。規程案のファイルをメーリングリストにて配布し、訂正を行ったものを5月の監理会議に提示する。監理での審議後理事会に提出、決定する。

3) 大学院生（臨床検査技師）の会員種別について

ホームページ上の「ご意見・ご要望」に臨床検査技師免許取得後大学院生になった場合、学生会員として入会が可能かとか、問い合わせがあった。

定款に明確な記載はないが、5条に学生会員について「この法人の目的に賛同して入会した臨床検査技師になることを志す学生」とあるため「正会員」としての入会が適切と考える

→定款5条のとおり、臨床検査技師の有資格者であるかどうかで学生会員と正会員を区別する。大学院生であっても臨床検査技師は「正会員」とする。

4) 事務局常任委員について

都臨技ホームページ管理が事務局の担当となり、ホームページ更新・管理の実務を委嘱する事務局常任委員を2名推薦する。

候補者2名はいずれも以前より業務を委嘱しているが、市村氏に関しては今年度末での辞任の意志が固いため、任期を1年としている。来年1名の補充が必要であるが、事務局宮崎副会長、鈴木事務局次長、支部からの参画も含め円滑な更新・管理を検討する。

→承認された。

○STI 予防委員会

常任委員 2 名の承認について

昨年度より活動には参加しているが常任委員としては新規となる

→承認された。

○編集委員会

機関紙発行業務委託先の選定

8 月号以降の発行を委託する業者として下記の 3 社から見積書等が提出された。

①株式会社日本興業社 総額 6,696,560/4 回

広告が主であるが、従来委託していた東広社からの転籍者が新しく印刷部門を作って担当する。

今までのことをよく把握しており、依頼側の要求に迅速にこたえられる。

②有限会社 ヤマモト企画 約 544 万/4 回

印刷会社であるが、医学関連の実績なし

③インテルナ出版株式会社 約 533 万

医学専門出版社で細胞診等医学系雑誌を出版している。

①は昨年度の実績約 610 万よりやや高めである。今までのことを把握しており、無理がきくし仕事内容は問題ない。

②金額的に③より高く医学系雑誌の実績がないため選外

③金額が安い、梱包発送に関する見積もり費用が安い、新規事業が 8 月号で発行までの準備期間の短いことが不安材料。

→今年度 3 回のみ依頼として日本興業社に依頼する。次年度については再度見積もりを取って検討する。もし 3 回では受けられないということであれば急ぎインテルナを検討する。

○今年度各委員会委員について

表彰選考委員会：支部色は強くなってよい。

学術、地域保健共催：各支部から必ず 1 名以上選出

役員選出：現在 6 名、各支部から 1 名の 4 名構成では人数が少なく十分な検討が行えないが、各支部から 2 名の 8 名体制では多い。

任期について：3 月末任期では、総会までの作業を任期切れの委員に継続をお願いすることになる。また支部移動の調整も必要であるため、すべてそろえて総会までとした方が円滑。

・各理事が所管している委員会について、提案をいただきたい。

・役員選出委員会についてはすでに提出済みの案を庶務で修正し監理会議にかける。

○後援名義使用申請

1) 第 7 回呼吸の日記念フォーラム (2014) について

4-5 年続けて申請があり、後援名義使用を許可している事業である。

→承認された。

2) 第 14 回首都圏ラボラトリーフォーラムについて

申請書のフォーマットが古いので新しいものを今後使用してもらう

→承認された。

○その他

医学中央雑誌への掲載誌登録とデータベース収録について

会誌の名称が変わったため、新たに掲載と収録の依頼が来た。今までも登録されている。

→新会誌名称にてあらためて登録を行う。

4. その他

○日臨技からのお知らせについて (当日資料 p 15)

セルフメディケーション実現のため厚生労働省医政局帳通知があり、「受検者自らが採取した検体」についての項が追加され、この取り扱いについて「検体測定室に関するガイドライン」が新たに制定された。薬局、店舗で医師がいなくても、患者 (お客) が自分で採取した検体であれば測定できる。提供できるのは基準値と測定値のみで、高い低い等の説明はできない。セルフメディケア施設の 40 件程度の申請あり。

日臨技で精度管理の研修や当該ガイドラインの説明会を実施する予定 (5 月末の総会前?) なので、ホームページ等で確認し情報を得る必要がある。

○日臨技理事候補者について

平成 26・27 年度理事候補者としてすでに小松副会長を推薦したが、会長推薦枠としてもう 1 名の推薦を依頼された。副会長と相談のうえ、工藤庶務部長を推薦、当人の了解も得たので報告する。

日臨技の理事候補は宮島会長含めて 30 名であり、都臨技からは、下田会長、小松副会長、工藤庶務部長の 3 名が選出されている。

○都臨技研修会場兼事務所の購入について

平成 26 年度は取得費用積立金に 950 万、約 3000 万の資金がある。山手線内で、100 人収容可能な研修会場のある事務所という条件で物件を探している。

不動産業者から 1 棟買いの提案があり、銀行に融資を相談、借入金を賃貸収入で返済することを提案されている。駒込駅からの徒歩圏内で相場 4 億のところ借地権付きのため 1 億 9 千万で購入できる。

その他の物件の検討も含め、今後は事務所購入会議体を作り検討を行っていききたい。

○研修会の最終校正回答を今週中にお願ひする。

○神奈川県臨床検査医学会大会のお知らせを配布した。積極的な参加をお願ひする。

平成 26 年 4 月 16 日 (水)

公益社団法人東京都臨床検査技師会

議長 下田勝二 
(下田)

監事 東海林治三郎 
(東海林)

監事 立花勇一 
(立花)

監事 遠藤盛人 
(遠藤)